

第77回美の里運営状況

2023年3月

生活相談員 松田 恭平

1. ベッド管理（健康管理も含む）（2月28日時点）

特養：在籍者数 29名 在苑者数 27名 平均年齢88.3歳 平均介護度3.45
新入所者 1名 退所者数 1名
入院：1月 1名 2月 3名
外泊：1月 0名 2月 0名
ショートステイ：1月ご利用者 4名（のべ利用数54回） 新規利用者1名
2月ご利用者 3名（のべ利用数40回） 新規利用者0名

（分析）

1月は1名入院で出た空床を全てショートステイのお客様にご利用いただき、1月を満床の状態でも維持することができた。2月は3名立て続けに入院、うち1名の退所に伴い待機者を案内。新規特養入所は10月以来となった。すぐの入所希望待機者が少ないため、今後も営業を行っていく。面会について直接対面で出来るよう法人で検討、美の里ではマスク着用緩和などの社会情勢を鑑みて3月13日から直接面会を再開していくこととなる。今後の感染対策として、職員は常時マスクの着用を継続、来苑者にもマスク着用への協力を求めていく。

2. 事故報告（4件）

（1月）転落…1件

（2月）転落…2件、皮下出血…1件

（分析）

- 転落 A様が昼食を食べ終わった後に車いすを自走し居室へ戻られる。その後職員がA様の居室へ行くとA様がベッド横で車いすから転落して横たわっているのを発見する。
A様は車いすを自走して居室に戻ると職員を呼ばれるが、ナースコールを取ろうとして車いすから転落したと思われる。体重が増えてきており座面のクッションから滑りやすくなっていたことも考えられる。転落対策として、家族と相談し座った際に膝が上がるような高低差のあるクッションを購入。以後自走時にも姿勢が安定し、車いすから転落することはなくなった。
- 転落 深夜帯、B様の居室から声がしたため放室すると、ベッドから転落している状態のB様を発見。B様は糖尿病のため両下腿がなく、足元の赤外線センサーに反応しないためセンサー設置ができないお客様であった。また、トイレの希望が多くベッドから降りようとするこもしばしばみられていた。今後見守りの強化と、居室移動や低床ベッドでの対応の必要性を検討しながら様子観察を行っていく。

ひやり・はっとより

その他 夜間に1丁目ユニットの居室センサーがなり職員が放室すると、C様が別のお客様の居室に入りそのお客様のセンサーが鳴っている状態であった。C様は全盲のため自身の居室から出たことがわからずに別の居室へ入ってしまったとのこと。今後は居室を出たことがC様自身にもわかるよう扉に鈴をつけて音になるよう改善。C様も方向を間違えて扉に触れた際に音になることで、位置感覚をつかむことが出来るようになった。

転倒 食事後にD様を洗面台へ誘導、その後職員は他のお客様の居室へ向かい介助を行っていた。しばらくしてD様が居室から叫ぶように職員を呼ばれていたため放室するとナースコールを洗面台に置いていなかった為呼んだとのこと。日頃は手元に置き、必要時にはコールを押してもらっていたが、職員が置き忘れていた。車いすからの立ち上がりあり転倒の危険があるお客様のため、離れる際は必ずナースコールを手元に置くよう連絡簿で周知徹底した。

3. 活動報告

地域交流

1月 サロン田鶴送迎

2月 サロン田鶴送迎

外出

1月 なし

2月 なし

施設内行事

1月 美の里神社参拝

2月 節分

4. 活動予定(3月・4月)

3月 ひな祭り、おやつ作り

4月 いちご狩り、花見

外出行事を計画する場合は新型コロナウイルスの様子をみて判断していく。

外出の際は必ずマスク着用、消毒用アルコールの持参など感染対策を徹底する。

5. その他

6. 次回開催日 2023年 5月 19日(金) 14:00

開催場所 特別養護老人ホーム美の里 地域交流室にて(予定)

開催の可否については予めご連絡いたします。